

# 出前講座報告書



日 時: 2016年10月21日  
開催場所: 相双保健福祉事務所  
いわき出張所

## テーマ

### 「健診で気になる子の支援」

発達障害の定義、スクリーニング、そして具体的な支援のための保護者とのかかわり方までを学ぶ講義でした。



## 講義の様子



健診で気になる子の支援というタイトルで、発達障害の定義、スクリーニング、そして具体的な支援や保護者とのかかわり方までを学ぶ講義でした。健診における年齢別評価ポイントや保護者の特性別の関わり方など、現場に活用できる内容でした。

## 講師紹介



大阪府立母子保健総合医療センター  
臨床研究部 室長 植田紀美子先生

自治医科大学卒業、米国ハーバード大学公衆衛生大学院卒業（MPH）、自治医科大学医学博士取得。大阪府立急性期・総合医療センター小児科、大阪府健康づくり感染症課主査、厚生労働省精神保健福祉課心の健康づくり対策官、米国ハーバード大学公衆衛生大学院研究員（日本学術振興会海外特別研究員）等をへて、平成20年より大阪府立母子保健総合医療センター勤務。現在、同センター臨床研究支援室長、遺伝診療科副部長として、障がい児等に関する研究や診療を行う。趣味は、ミュージカル鑑賞、マラソン。



## グループワーク

グループワークの時間が非常に短かったのですが、多くの方が「ほめる」ことの大切さを学んだこととしてポストイットに書き出していました。



## アンケート集計結果

参加者は24名、アンケート回収は19名でした。

| 評価項目              | (そう)思う(※) |
|-------------------|-----------|
| 研修の資料や進行について      |           |
| 配布資料は適切だった        | 100%      |
| 時間配分は適切だった        | 63%       |
| 進行は適切だった          | 100%      |
| 研修の内容について         |           |
| 講義内容について理解できた     | 95%       |
| 講義は今後の保健活動に役立つと思う | 95%       |
| 話し合いは今後の活動に役立つと思う | 89%       |
| 学んだことを同僚に伝えたいと思う  | 95%       |

\* 5段階評価：「1. 全くそう思わない」～「5. 大いにそう思う」の4と5の合計

## 復習ポイント

- ・ 1歳6か月健診でなぜASDスクリーニングが大事なの？保護者にどう説明する？
- ・ ASDを早期発見するため、健診での訴えのポイントと観察のポイントは？
- ・ 就学前に軽度ASDを見逃さないようにするための観察ポイントは？
- ・ 子どものほめ方、具体的にはどうしますか？

## 編集後記

植田先生には大阪からいらしていただき、お陰様で大変充実した研修会となりました。来年度は出前講座のテーマ募集時に基礎編と応用編に分けることも検討しています。またのご参加をお待ちしております！

(後藤)

Organized by FMU



性差医療センター  
災害医療総合学習センター  
医療人育成・支援センター  
総合科学教育研究センター  
公衆衛生学講座

本ニュースレターのデザインはご当地シリーズです。

出前講座は「福島県保健師現任教育指針」の枠組みで行っています。

